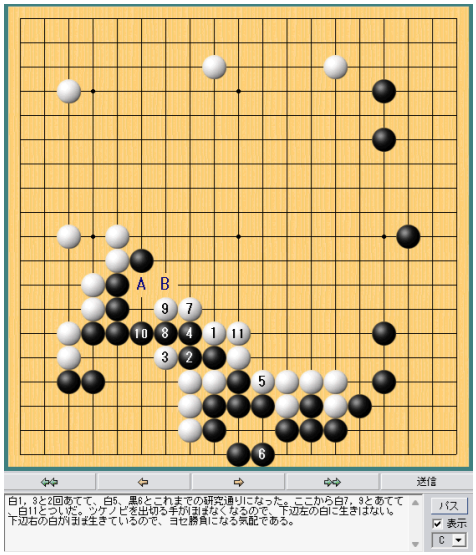
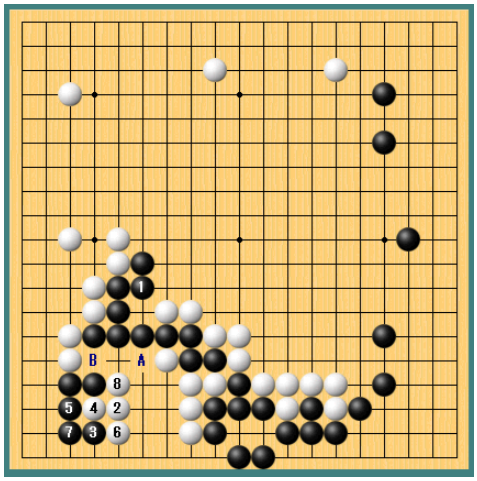
42. 下辺左側の白を捨て気味にきた時の対応（その 3）

【79-2 図】（再掲）で黒 A とついだ後、白が左下隅を生きようとした場合に遭遇したので、検討しておく。結論は、白死であるが、間違えやすいので、注意を要する。

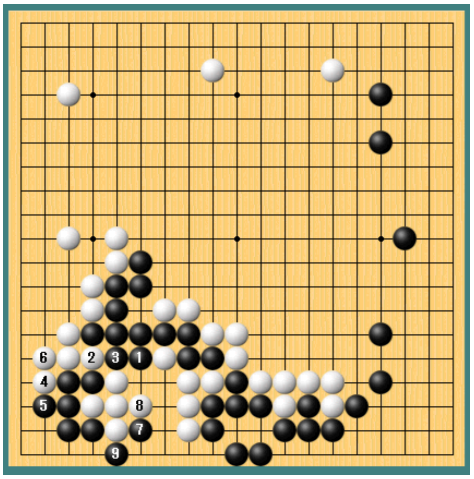
【79-2 図】（再掲）



【84-1 図】



【84-1 図】黒 1 のカタツギは 37.（p.106）で記載している。白 2、4、6 は左下で白を活かさない対応として、検討済みである。白 8 と黒の切断を狙ってきたときに、黒 A と白を活かさない対応が必要で、黒 B には白 A で、生きられてしまう。

【84-2 図】黒 1 に対して、白 2 と切断してきても、白の方が手数が短い。例えば、隅を白 4 とハネても、ツギが必要なので、黒 7 以下、攻め合いは黒勝ちである。但し、黒は 84－1 図の B とついで、白 A と生かしても、黒に生きはあるので、勝負はこれからである。

【84-2 図】